

久留米市文化芸術振興基本計画 事業説明一覧（一覧）

(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成		シート頁
①-ア	学校への芸術家等派遣事業	P 1
②-イ	市民文化活動助成（補助金）	P 2
③-ア	久留米市芸術奨励賞	P 3
③-ア	青木繁記念大賞ビエンナーレ	P 4
③-イ	文化芸術コーディネーター養成	P 5
(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
①-イ	多様な文化芸術活動への積極的な支援【担当：シティプラザ】	P 6
②-ア	音楽によるまちづくりの推進	P 7
③-ア	青木繁旧居の管理・運営	P 8
③-ア	歴史的建造物保存整備事業【担当：文化財保護課】	P 9
③-ア	坂本繁二郎生家活用事業【担当：文化財保護課】	P 1 0
③-ア	有馬記念館活用事業【担当：文化財保護課】	P 1 1
③-ウ	歴史ルートづくり事業【担当：文化財保護課】	P 1 2
④-ア	文化芸術事業を活用した賑わい創出事業【担当：シティプラザ】	P 1 3
④-イ	久留米市未来の地域リーダー育成プログラム事業（文化芸術リーダー育成事業）【担当：学校教育課】	P 1 4
⑤-ア	（公財）久留米文化振興会事業（補助金）	P 1 5
(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
①-ア	久留米シティプラザ 自主事業【担当：シティプラザ】	P 1 6
①-ア	久留米シティプラザ 提携事業【担当：シティプラザ】	P 1 7
①-ウ	久留米シティプラザ 魅力発信事業【担当：シティプラザ】	P 1 8
②-ア	美術館事業（コレクション形成）	P 1 9
②-イ	美術館事業（展覧会、教育普及事業）	P 2 0
②-ウ	美術館事業（石橋文化センター全体のミュージアム化）	P 2 1
②-エ	美術館事業（寄付やボランティア制度など）	P 2 2
③-ウ	そよ風ホール活用事業【担当：田主丸総合支所文化スポーツ課】	P 2 3
③-エ	インガットホール活用事業【担当：城島総合支所文化スポーツ課】	P 2 4
(4) 効果的かつ積極的な情報の収集と発信		
①-ア	芸術家等に関する情報収集	P 2 5
②-イ	久留米シティプラザ 普及啓発事業【担当：シティプラザ】	P 2 6
③-ア	様々な媒体を活用した情報発信	P 2 7

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	学校への芸術家等派遣事業	担当課	文化振興課																		
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成																				
取組みの内容	①文化芸術に関する子どもの創造的体験の充実																				
取組み項目	ア.学校などでの子どもたちの文化芸術体験機会の提供																				
事業の目的・概要	<p>【目的】 学校の先生と芸術家、文化芸術コーディネーターが協働しながら、子どもの感性や創造性を育むプログラムを実施し、児童や生徒たちが文化芸術体験を通じて学びあい、表現できる環境を整えていくこと、また、将来の文化芸術活動に繋げることを目的とする。</p> <p>【概要】 地域の芸術家や伝統芸能の保持者を市内の小・中学校等に派遣し、学校施設を会場として、児童・生徒を対象に、文化芸術に関する簡単な実技・実演披露や講和・体験等を行う。年度当初に、市立の小・中学校等に対し希望調査を行い、実施校を募集する。実施校の決定後、文化芸術コーディネーターが各学校に赴き、先生と打ち合わせを行う。学校の希望を踏まえながら、内容に相応しい芸術家を選び、学校の先生や芸術家と打ち合わせを行い、事業内容を調整していく。</p> <p>本事業は、市が（公財）久留米文化振興会に委託する形で実施しているもので、同団体が文化芸術コーディネーターの取りまとめ等を行う。</p> <p style="text-align: right;">（単位：校）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 5%;">H28</th> <th style="width: 5%;">H29</th> <th style="width: 5%;">H30</th> <th style="width: 5%;">R1</th> <th style="width: 5%;">R2</th> <th style="width: 5%;">R3</th> <th style="width: 5%;">R4</th> <th style="width: 5%;">R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業実施校</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	事業実施校	16	32	31	33	20	17	25	32
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5													
事業実施校	16	32	31	33	20	17	25	32													
令和5年度	事業費（千円）		実績																		
	予算	決算																			
	3,731	3,731	・実施校：32校（小学校31校、特別支援学校1校） ・分野：馬頭琴（12校※うち4校は同時開催）、狂言（6校）、邦楽（3校）、水墨画（5校）、能（4校）、音楽（1校）、華道（1校）																		
令和6年度	事業費（千円）		計画																		
	予算	決算																			
	3,731		・実施校：32校（小学校30校、中学校1校、特別支援学校1校） ・分野：馬頭琴（9校※うち4校は同時開催）、狂言（4校）、箏（5校）、水墨画（5校）、能（7校）、音楽（1校）、華道（1校）																		
課題等	・年度初めに各学校に対し、実施希望時期・分野について希望調査をした上で実施スケジュールを決定しているが、例年馬頭琴を希望する学校が多く、他の分野の実施数とバランスを取っていく必要がある。 ※実施希望分野：①演劇、②美術（水墨画など）、③伝統音楽（箏など）、④国際民族音楽（馬頭琴など）、⑤音楽、⑥舞踊（日本舞踊、ダンスなど）、⑦伝統芸能（能、狂言、謡曲など）、⑧生活文化（華道など）																				

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	市民文化活動助成（補助金）	担当課	文化振興課
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成		
取組みの内容	②あらゆる市民の文化芸術活動への支援		
取組み項目	イ.市の補助金、後援などによる活動支援		
事業の目的 ・概要	<p>【目的】 久留米市内を活動の拠点とし、市民文化の振興に大きく寄与している事業に対して必要な財政的支援を行い、さらなる市民文化活動の振興を図る。</p> <p>【概要】 各分野において、全市のまた市域を越える規模で行われる事業や活動に対して助成する。</p>		
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	17,135	17,004	<p>12事業のうち11事業へ財政的支援を行った（1事業のみ実施見送り）。</p> <p>①久留米市総合美術展 ②久留米ちくご大歌舞伎 ③謡曲大会 ④子ども劇場【実施見送り】 ⑤芸能大会（R5年度まで） ⑥西日本久留米王位戦（将棋） ⑦久留米連合文化会事業 ⑧市民オーケストラ演奏会 ⑨吹奏楽連盟演奏会 ⑩ジュニア青木繁展 ⑪旧4町文化協会の文化事業（4団体） ⑫一般コミュニティ助成（R4年度申請分・2団体）</p>
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	14,040		<p>12事業に対し、財政的支援を行う予定。</p> <p>①久留米市総合美術展 ②久留米ちくご大歌舞伎 ③謡曲大会 ④子ども劇場 ⑤西日本久留米王位戦（将棋） ⑥久留米連合文化会事業 ⑦市民オーケストラ演奏会 ⑧吹奏楽連盟演奏会 ⑨ジュニア青木繁展 ⑩旧4町文化協会の文化事業（4団体） ⑪一般コミュニティ助成（R5年度申請分・0団体） ⑫市内公共施設利用補助金（R6年度のみ）</p>
課題等	・市の厳しい財政状況の中、補助額の維持や新たな事業への対応が難しくなっている。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米市芸術奨励賞	担当課	文化振興課																								
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成																										
取組みの内容	③ 文化芸術に関わる人材の育成と活用																										
取組み項目	ア.芸術家の発掘・育成支援																										
事業の目的・概要	<p>【目的】 市民の文化芸術に対する意欲の高揚を図り、もって市の文化芸術の発展に資する。</p> <p>【概要】 過去において優れた実績があり、また、展覧会および発表会等において優れた成績をおさめた者で、将来を嘱望される者に対して芸術奨励賞を贈呈する。 ※「将来を嘱望される者」という賞の意義をふまえ、令和4年度より、60歳未満の個人またはメンバーの平均年齢が60歳未満の団体を選考対象とすることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考方法 他薦により候補者を募集。提出書類等に基づき、附属機関である「久留米市芸術奨励賞選考委員会」（学識経験者等15名で構成）で選考。 ・受賞者の決定 久留米市芸術奨励賞選考委員会の意見を聴いて、市長が決定する。 ・表彰方法 毎年11月3日（文化の日）、市表彰式にて ・実績 令和5年度までの実績 191名・9団体 ・表彰人数 5名以内 ・賞金の額 10万円 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">受賞者(人)</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">分野</td> <td style="text-align: center;">邦楽、声楽</td> <td style="text-align: center;">声楽、ピアノ</td> <td style="text-align: center;">文学、華道 書道、演劇 洋舞</td> <td style="text-align: center;">書道、華道 器楽</td> <td style="text-align: center;">華道、洋楽 音楽、 舞台芸能、 美術</td> <td style="text-align: center;">洋楽2、 声楽、彫 刻、書画</td> <td style="text-align: center;">洋楽3</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	受賞者(人)	2	2	5	3	5	5	3	分野	邦楽、声楽	声楽、ピアノ	文学、華道 書道、演劇 洋舞	書道、華道 器楽	華道、洋楽 音楽、 舞台芸能、 美術	洋楽2、 声楽、彫 刻、書画	洋楽3
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																				
受賞者(人)	2	2	5	3	5	5	3																				
分野	邦楽、声楽	声楽、ピアノ	文学、華道 書道、演劇 洋舞	書道、華道 器楽	華道、洋楽 音楽、 舞台芸能、 美術	洋楽2、 声楽、彫 刻、書画	洋楽3																				
令和5年度	事業費 (千円)		実績																								
	予算	決算																									
	835	524	7月～8月 芸術奨励賞候補者の募集 9月～10月 受賞者選考 11月3日 表彰式（洋楽の3人へ、奨励賞贈呈）																								
令和6年度	事業費 (千円)		計画																								
	予算	決算																									
	837		7月～8月 芸術奨励賞候補者の募集 9月～10月 受賞者選考 11月3日 表彰式																								
課題等	・若手の応募を増やすための検討、事業の周知の工夫																										

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	青木繁記念大賞ビエンナーレ（※R5年度で終了）	担当課	文化振興課
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成		
取組みの内容	③ 文化芸術に関わる人材の育成と活用		
取組み項目	ア.芸術家の発掘・育成支援		
事業の目的・概要	<p>【目的・概要】</p> <p>青木繁を顕彰する青木繁記念大賞公募展と西日本地区の新人画家の登竜門として開催実績のある西日本美術展（西日本新聞社主催）が統合し、平成21年に第1回「青木繁記念大賞西日本美術展」を開催。以後、若手作家の飛躍を願う公募展としてビエンナーレ（隔年開催）形式で開催してきた。</p> <p>平成30年度より事業名及び実行委員会名が変更となり、第6回（平成30年度準備、令和元年度開催）より、40才未満や、2点目以降の出展料を減額し、奨励賞の増枠や「オーディエンス賞」の新設により、作家の創作意欲を奨励し、さらなる芸術の振興を目指して開催した。</p> <p>第7回展は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催が見送りとなっていたが、公募展開始から約30年を経たことを区切りとし、令和4年度の公募、令和5年度の展覧会開催をもって、同展を終了することとなった。</p> <p>○応募資格 日本国内居住者</p> <p>○応募作品 本人が制作した洋画（油彩、水彩、版画など）で公募展で未発表の作品</p> <p>○賞：大賞（賞状・副賞200万円）※第5回より作品の買い取りを中止、100万円減額 石橋財団賞（賞状・副賞100万円）※第5回より作品の買い取りを中止、100万円減額 特別賞・西日本新聞社新人賞（賞状・副賞50万円） 特別賞・テレビ西日本賞（賞状・副賞30万円） 特別賞・わだつみ賞（賞状・副賞20万円） 優秀賞・4点（賞状・副賞10万円）、奨励賞・約10点（賞状・副賞5万円） オーディエンス賞（1点・副賞地元特産品5万円相当）、入選約70点（入選証）</p> <p>○運営主体：青木繁記念大賞ビエンナーレ実行委員会（事務局：久留米文化振興会）</p> <p><参考>・青木繁記念大賞公募展（平成3年から開催、平成19年度まで17回開催） ・西日本美術展（昭和43年から開催、平成19年度まで40回開催）</p>		
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	4,000	4,000	第7回青木繁記念大賞ビエンナーレの開催 ・作品受付：4月1日～30日 ・作品審査：6月 ・展覧会：令和5年7月1日～7月30日（久留米市美術館1階） 全国から318人の443作品が出品され、入賞12点、入選79点が決定 会期中3,976人が来場（前回は3,572人）
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	-	-	事業目的を引き継ぐ取組について、関係団体等と協議を進める
課題等	・第7回展終了後の、青木繁の顕彰と美術分野の若手育成の目的を引き継ぐ、新たな事業の検討		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	文化芸術コーディネーター養成	担当課	文化振興課																																	
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成																																			
取組みの内容	③ 文化芸術に関わる人材の育成と活用																																			
取組み項目	イ.文化芸術事業の推進を支える人材の育成																																			
事業の目的・概要	<p>【目的】 「アウトリーチ」（芸術家派遣事業）や「ワークショップ」（体験型講座）などの活動において、芸術家や指導者と市民や地域をつなぐパイプ役のとしての人材を「文化芸術コーディネーター」と位置付け、その養成を目的として事業を行う。</p> <p>【概要】 子どもたちの芸術体験事業として行っている「学校への芸術家等派遣事業」において、学校と芸術家をつなぎ、調整していく役割を担う人材としての「文化芸術コーディネーター」を養成するため、養成講座等を実施する。</p> <p style="text-align: right;">（単位：人）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養成事業参加者</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>—</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>15</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>芸術家派遣事業に参加したコーディネーター</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	養成事業参加者	7	6	—	25	16	17	—	—	15	5	芸術家派遣事業に参加したコーディネーター	7	5	5	5	16	17	10	8	6	5
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																										
養成事業参加者	7	6	—	25	16	17	—	—	15	5																										
芸術家派遣事業に参加したコーディネーター	7	5	5	5	16	17	10	8	6	5																										
令和5年度	事業費（千円）		実績																																	
	予算	決算																																		
	141	141	<p>①コーディネーター養成講座（8/19） 現コーディネーターやコーディネーターを希望する人を対象に、アートマネジメント専門の古賀弥生氏を講師として講座を開催（5人参加）。</p> <p>②「学校への芸術家等派遣事業」において、コーディネーター5名が参加。 （令和5年度末コーディネーター登録者：5名）</p>																																	
令和6年度	事業費（千円）		計画																																	
	予算	決算																																		
	196		<p>経験の浅いコーディネーターに対して、経験を積んだコーディネーターからのOJTを実施し、芸術家等派遣事業における学校とアーティストとの調整力を身につけてもらう。</p> <p>養成講座等の内容については、検討中。</p>																																	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校への芸術家等派遣事業」で実施希望校数の増加により、コーディネーター数が不足している。 ・コーディネーターの経験と知識の向上を図る、効果的な養成講座を検討していく必要がある。 																																			

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	多様な文化芸術活動への積極的な支援	担当	久留米シティプラザ
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	① 文化芸術団体等との連携による多様な文化芸術活動の推進		
取組み項目	イ.多様な文化芸術活動への積極的な支援		
事業の目的・概要	<p>【目的】 文学や演劇、美術や音楽など多様な分野での市民や文化芸術団体などとの連携・協力あるいは活動の支援により、久留米市の文化芸術の裾野を広げ、活性化していく。 多様な文化芸術活動への積極的な支援として、新しい芸術分野も含めた多様な文化芸術活動を積極的に支援していく。</p> <p>【概要】 久留米シティプラザの活動支援</p> <p>(1) 久留米ちくご大歌舞伎 市民が本格的に歌舞伎を演じる舞台であり、複数の地場企業が支援を行う事業。 例年約100名が出演し、近年は小、中、高生など若い世代の出演者も見られる。</p> <p>(2) 久留米市民オーケストラ 久留米青年会議所メンバーの呼びかけにより誕生。シティプラザでは開館当初より、ザ・グランドホールや六角堂広場などでコンサートを開催。</p> <p>(3) みんなのステージ発表会（旧芸能フェスティバル） 旧市民会館より開催されている市民発表会であり、市内で文化・芸能活動を行っている個人や団体・サークルが、多様なジャンルに分かれ、日頃の練習の成果を発表。</p>		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	4,000	2,749	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなのステージ発表会2023 ※昨年度までの芸能フェスティバルの内容をリニューアルし、開催日程、対象者、対象演目を拡充 5/20・21開催、入場者数2,500人（出演者含む） ●久留米市民オーケストラ第35回定期演奏会 5/27開催、入場者数1,100人 ●久留米ちくご大歌舞伎 10/29開催、入場者数985人
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	3,168	-	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなのステージ発表会2024 3/15・16開催 ●久留米市民オーケストラ第36回定期演奏会 5/18開催 ●第50回久留米ちくご大歌舞伎 10/27開催
課題等	・平成28年度から令和4年度まで実施した「芸能フェスティバル」について、令和5年度から対象者や対象演目を拡充し、「みんなのステージ発表会」として実施したが、今後はいかに新たな出演者を募ることができるかが課題。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	音楽によるまちづくりの推進	担当	文化振興課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	② 音楽の力を活かしたまちづくりの推進		
取組み項目	ア.音楽によるまちづくりの推進		
事業の目的・概要	<p>【目的】 音楽の持つ力で人とまちを元気にするため、音楽イベントの実施や音楽アーティストの育成・支援の取り組みを展開し、まちに賑わいを創出するとともに、市の魅力向上につなげる。</p> <p>【概要】</p> <p>①若手ミュージシャン育成プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●TEEN'S MUSIC PROJECT 若手ミュージシャンの裾野を広げるための音楽ワークショップを開催 ●くるめライブチャレンジ 音楽分野の人材発掘のために、一般公募型のライブコンテストを開催（※令和4年度から「くるめ街かど音楽祭」を融合し、内容を拡充）。 <p>②音楽によるまちづくり推進事業費補助金 市民の音楽鑑賞や演奏機会の創出を図り、音楽の力により人と街を元気にするため、市の音楽分野をリードする人材を中心として組織された、市民参加型の音楽イベントを実施する実行委員会の活動を支援する。</p> <p>③邦楽振興事業 善導寺ツアーにて箏曲発祥の地「善導寺」で近代箏曲の祖・諸田賢順を顕彰し、小演奏会で邦楽の音色の魅力を伝え邦楽に親しむ市民の裾野を広げる。また、石橋文化ホールにて一流の演奏家を招き、本格的な演奏会を行い、一年を通して初心者から上級者まで楽しめる事業とする。</p> <p>④久留米ゆかりの音楽事業への支援 令和元年度に、久留米でベートーベンの「第九」が演奏されて100年目となることを記念して、市民合唱団による第九演奏会を開催。令和2～4年度はコロナの影響で中止し、R5年度に2回目となる演奏会を開催。</p>		
令和5年度	予算	決算	実績
	12,285	12,285	<p>①ジュニア★ミュージックレクチャー 市近郊の中高生を対象としたテクニカルワークショップを4回（6/10、7/26、8/22、9/23）、公開ライブ（11/23）を開催し、市内外9校の高校・中学から58名の学生が参加した。</p> <p>②くるめライブチャレンジ2023 公募での50組のアマチュアミュージシャンによるライブコンテスト（9/30、10/15、11/11）を開催、ファイナルステージ（2/24）でグランプリを決定。</p> <p>③KURUME MUSIC FES.2024 3/17に、東町公園でメジャーミュージシャンや久留米ゆかりのミュージシャンをゲストとして招き、地元商店街による出店を伴った音楽フェスを開催（来場者約8,000人）</p> <p>④邦楽振興事業 ・10/1 箏曲発祥の地・大本山善導寺ツアー（参加者55名）、小演奏会（参加者88名） ・3/23 「箏曲のふるさと久留米 第6回 春を彩る邦楽のしらべ」演奏会（石橋文化ホール、来場者356名）</p> <p>⑤久留米第九を歌う会演奏会 ・12/3 「久留米第九2023」（ザ・グランドホール、来場者約800人）</p>
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	<p>①若手ミュージシャン育成プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●TEEN'S MUSIC PROJECT（市内近郊の10代を対象とした、音楽ワークショップ） ●くるめライブチャレンジ（一般公募型のライブコンテスト） <p>②音楽によるまちづくり推進事業費補助金 市の音楽分野をリードする人材を中心として組織された、市民参加型の音楽イベントを実施する実行委員会の活動を支援する。</p> <p>③邦楽振興事業 ・10/6 箏曲発祥の地・大本山善導寺ツアー・小演奏会 ・3/15 邦楽演奏会「春を彩る邦楽の調べ」（石橋文化ホール）</p> <p>④久留米第九を歌う会演奏会 ・12/28 久留米第九2024（ザ・グランドホール）</p>
課題等	まちづくりの視点における音楽イベントのあり方の検討、効果的な広報など		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	青木繁旧居の管理・運営	担当	文化振興課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化		
取組み項目	ア.文化財などの保存・継承		
事業の目的・概要	<p>【趣 旨】 久留米が生んだ近代洋画家・青木繁が多感な少年期を過ごした建物として、美術史的、文化的価値の高い青木繁旧居を、かけがえのない地域の財産として保存するとともに、市の文化振興と地域振興のために有効に活用する。 平成18年4月から、地域住民で構成される任意団体「青木繁旧居保存会」を指定管理者とし、同団体により主体的な管理運営がなされている。</p> <p>【概 要】 ・全面的な復元整備を行い、平成15年3月に「青木繁旧居」として開館。 ・平成18年4月から、地域住民で構成される任意団体「青木繁旧居保存会」を指定管理者として、同団体による主体的な管理運営へ移行。 ・青木繁旧居保存会による、施設の魅力向上のための取組みや、来館者に対する丁寧な説明・対応により、市内外からのリピーターが増えている。</p> <p>指定管理者：青木繁旧居保存会（久留米市荘島町431番地） ※会員数10名（R6.4.1現在） 指定期間：令和5年4月1日から令和8年3月31日まで（第6期・3年）</p>		
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	2,702	2,702	指定管理者である青木繁旧居保存会により、施設の管理、来館者への対応等を行った。 (1) 久留米つつじマーチとの連携 ・4/16 久留米つつじマーチ10kmコースのチェックポイントとして連携（通過者680人） (2) 青木繁旧居での自主事業を実施 ・11/19 お茶を楽しむ会（参加者117人）
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	2,702		指定管理者である青木繁旧居保存会により、施設の管理、来館者への対応等を行うほか、青木繁旧居での自主事業を実施する。 ・4/21 久留米つつじマーチ10kmコースのチェックポイントとして連携（通過者641名） ・11月頃 お茶を楽しむ会 ・その他、華道展など企画予定
課題等	平成15年の開館から年数が経過し、施設の老朽化による修繕を計画的に実施する必要がある。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	歴史的建造物保存整備事業	担当課	文化財保護課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化		
取組み項目	ア.文化財などの保存・継承		
事業の目的 ・概要	<p>【目的】 市内に残る歴史的価値のある建造物を調査・整備し、保存を図るとともに、市民が身近な場所で久留米市が歩んできた歴史を感じながら暮らすことができるまちづくりへ活用していく。</p> <p>【概要】 ・市内に残る建造物の歴史的価値及び保存修理の必要性について調査を実施。 ・文化財に指定された建造物の経年劣化による腐朽や自然災害による被害の修理・復元を行うとともに、所有者の協力を得て保存と活用を図る。</p>		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	2,561	3,022	<p>・令和4年度に引き続き、草野町に所在する須佐能袁神社について詳細調査を実施。その歴史的価値を明らかにする作業を進めた。令和6年度まで調査を継続し、近代和風建築の代表例として重要文化財指定を目指す。</p> <p>・神社建築をはじめ、歴史的建造物の把握に務めた。今後、悉皆調査や詳細調査を実施することで、歴史的建造物を活用した事業の立案を図る。また、市内に残る歴史的建造物を国登録文化財への申請も検討し、令和5年5月に申請した日吉町所在の旧國武合名会社関連の建造物2件が、国登録有形文化財（建造物）となった。</p> <p>・経年劣化により毀損した大善寺町の大善寺旧庫裏（市指定）の修理工事を実施した。</p>
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	5,845		<p>・前年度に引き続き、草野町に所在する須佐能袁神社について詳細調査を実施し、3カ年の成果を調査報告書として刊行する。類例となる近代神社建築の調査も進め、須佐能袁神社を近代和風建築の代表例として重要文化財指定を目指す。</p> <p>・市内に残る歴史的建造物の保存・活用に向けた取組として悉皆調査を実施し、国登録文化財への申請を検討する。</p> <p>・経年劣化により雨漏りや防災設備の老朽化が生じている国重要文化財の善導寺や県指定文化財の須佐能袁神社、市指定文化財の雪の聖母聖堂について、補助金を交付し保存修理を実施する。</p>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・調査及び文化財指定・登録に際し、所有者の同意・協力が必要である。 ・建造物の保存修理は事業費が大きく、かつ長期の事業期間が必要であり、国・県の補助金をはじめとする財源の継続的な確保が必要となる。 		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	坂本繁二郎生家活用事業		担当課	文化財保護課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造			
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化			
取組み項目	ア.文化財などの保存・継承			
事業の目的・概要	<p>【目的】 市内に残る唯一の武家屋敷として、市の有形文化財（建造物）に指定されている坂本繁二郎生家を保存・活用し、後世に伝えていく。</p> <p>【概要】 坂本繁二郎生家は、久留米市出身の洋画家である坂本繁二郎が20歳まで暮らした家屋を復原工事したものである。施設公開や貸室利用に加え、年間を通じた体験講座などを開催することで、青木繁旧居などとともに地域魅力のスポットとして、「芸術の街久留米」をPRする。 併せて、JR久留米駅周辺の「歴史のプロムナード」を重要な地域資源として地域と連携した活用を行う。</p>			
令和5年度	事業費（千円）		実績	
	予算	決算		
	322	171	<ul style="list-style-type: none"> ・体験イベントについては保存会と協議し、感染対策に万全を期しながら再開した。7月のこども茶会、9月の落語寄席、12月の餅つきを実施した。 ・JR久留米駅の水天宮口周辺の歴史文化遺産をめぐる「京隈かいわいめぐり」（2月）など、地域との協働による取り組みも行う。 ・7月30日 こども茶会 参加者 16名 ・9月30日 中秋落語寄席 入場者数 68名 ・12月16日 餅つき大会 参加者 29名 ・R5年度入館者数 4,030名 R5年度貸室利用 19件 	
令和6年度	事業費（千円）		計画	
	予算	決算		
	287		<ul style="list-style-type: none"> ・体験イベントとして7月のこども茶会、9月の落語寄席、12月の餅つきを予定している。 ・JR久留米駅の水天宮口周辺の歴史文化遺産をめぐる「京隈かいわいめぐり」（2月）など、地域との協働による取り組みも行う。 ・海外からの来館者も増えてきたため、英語表記のガイドシートを設置する。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して安定した集客を確保するために、教育機関や観光事業者などへのPRを強化し、団体の利用促進を図る必要がある。 ・貸室の利用促進を図り、恒常的な利用申込の確保に努める。 			

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	有馬記念館活用事業	担当課	文化財保護課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化		
取組み項目	ア.文化財などの保存・継承		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米の代表的史跡である久留米城跡内に所在する有馬記念館で、久留米市や有馬家の歴史・文化を発信することで、地域の魅力向上に努める。</p> <p>【概要】 平成22年11月にリニューアルオープンした有馬記念館で開催される特別展・企画展等の開催経費と施設の維持管理費を補助する。 なお、施設の運営は、(公財)有馬記念館保存会が行っている。</p>		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	9,787	9,187	<p>久留米に関わる歴史・文化の公開を主目的とした企画展を1回と平常展(3回の展示替え)を開催。</p> <p>・平常展「大名有馬家と久留米城下町」 ：大名有馬家の格式や徳川將軍家との繋がり、江戸時代に歴代藩主が整備した久留米城下町での人々の暮らしぶりなどを、書状や陣具、雛人形といった有馬家ゆかりの資料や、発掘調査で発見された出土品などを通して紹介。</p> <p>・企画展「故事人物を訪ねる—久留米藩御用絵師の絵画からIII—」 ：久留米藩の御用絵師を務めた三谷家の関連資料を紹介。 令和5年度入館者 3,886人</p>
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	9,787		<p>久留米に関わる歴史・文化の公開を主目的とした企画展を1回と平常展(3回の展示替え)を開催予定。</p> <p>・平常展「大名有馬家と久留米城下町」 ：大名有馬家の格式や徳川家との繋がり、江戸時代に歴代藩主が整備した久留米城下町での人々の暮らしぶりなどを、書状や武具甲冑などを通して紹介。</p> <p>・企画展「江戸時代の人々とくらし—久留米市新収蔵資料公開—」 ：久留米市が令和4・5年度に新たに収集した江戸時代の歴史資料を初公開。</p>
課題等	<p>・観光・国際課、「まち旅」や「Rワーク」等のイベント主催者、マスコミ等と連携し、PR活動を強化することにより、集客の促進を図る。来館者アンケートを実施しさらなる広報の手段を分析する。</p> <p>・寄託資料の保存環境と展示環境を充実させるための設備の整備を進める。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	歴史ルートづくり事業	担当課	文化財保護課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化		
取組み項目	ウ.文化財を活用した地域の魅力向上		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米のシンボルであり豊かな歴史・文化・自然を育む高良山と、地域資源豊富な耳納北麓エリアなど、市内の歴史遺産が集中する地域を一体的な地域資源として捉え、情報発信、地域活動の醸成、拠点整備等を行うことで地域の魅力向上を図り、市を代表する魅力的なエリアとして、交流人口の増加を目指す。</p> <p>【概要】 関連する歴史遺産を集積・整理した「歴史のまち久留米 ストーリーシート」の作成、情報発信などによる「歴史のまち」としてのブランディング、歴史的なストーリーに基づくイベントの実施、拠点整備や拠点間をつなぐ行程の環境整備を行う。</p>		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	4,062	4,152	<p>・歴史遺産の保護と地域の魅力向上につなげるため、拠点となる高良山や梅林寺について総合調査等を継続して実施した。</p> <p>・国の認定を受けた久留米市文化財保存活用地域計画の運用と、本計画に基づく「筑後川遺産登録制度」を推進した。令和4年度に登録した城島と田主丸の2件の筑後川遺産について、地域への委託事業として情報発信イベントやストーリーシートNo.10・11の発行を行うことで、地域との協働による歴史遺産の保存活用を進めた。</p>
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	4,505		<p>・高良山総合調査や梅林寺歴史遺産調査等、市内に所在する歴史資料の調査を継続するとともに、高良大社記録類や福聚寺所蔵歴史資料の曝涼、国重要文化財「高良大社文書（百四十六通）」の公開など、文化財の保存活用に取り組む。</p> <p>・文化財保存活用のマスタープランである「久留米市文化財保存活用地域計画」を推進するため、地域計画協議会を開催するとともに、筑後川遺産関連の情報発信イベントやストーリーシートの発行等、地域とともに歴史遺産の保存活用を進める。</p> <p>・市民を対象としたワークショップを開催し、「筑後川遺産登録制度」について広く周知を図るとともに、筑後川遺産登録へ向けて市民団体等との協議を進める。</p>
課題等	<p>・地域との連携や交流人口増加のための取り組み。</p> <p>・「歴史のまち久留米」のブランディングの計画的な戦略。（基礎調査の推進とストーリーの構成、情報発信）</p> <p>・筑後川遺産の登録へ向けた情報発信と申請団体との協働。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	文化芸術事業を活用した賑わい創出事業	担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	④様々な政策分野との連携		
取組み項目	ア 文化芸術事業と観光・まちづくり産業などとの連携・協働		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米シティプラザを中心とした中心商店街で開催される久留米たまがる大道芸や、久留米商工会議所等が中心となって開催しているくるめまちゼミ、楽衆国まつりなどと連携した事業を実施することで、あらゆる市民に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、中心市街地に賑わいを創出する。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に大道芸が持つ日常を超えた楽しさや醍醐味を提供するとともに、中心市街地の新たな活力と賑わいを創出するため、商店街や広場、公園などの街なかを舞台に、市民、商店街、市などが一体となって大道芸フェスティバルを開催する。 ・久留米商工会議所が主催する商店街の店舗と連携した街なか活性化事業まちゼミにおいて、商店街連携事業として、施設見学会等を実施する。 ・市や久留米商工会議所等で作る「オール久留米で盛り上げ隊実行委員会」が主催する街なかイベント「くるめ楽衆国まつり」において、関連企画を開催する。 		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	6,935	6,566	<ul style="list-style-type: none"> ●久留米たまがる大道芸2023 11/18・19開催、来場者数20,000人 固定会場：久留米シティプラザ六角堂広場、西鉄久留米駅、東町公園、商店街駐輪場（4か所） ※固定会場の他、大道芸人が商店街を練り歩くパレードを実施 ●まちゼミ ※大雨のため開催中止（8/10） ●ランチタイムコンサート 9/28、10/12、11/2 開催 来場者1,700人 会場：六角堂広場 ●くるめ楽衆国まつり くるめ楽衆国まつりに合わせ、ザ・グランドホールで無料の映画上映会を実施 10/7開催、来場者数743人
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	8,744	—	<ul style="list-style-type: none"> ●久留米たまがる大道芸2024 11/16・17開催予定 ●ランチタイムコンサート 5/16、6/16、7/11開催予定 会場：六角堂広場 ●くるめ楽衆国まつり 4/29開催、ザ・グランドホールで映画上映会を開催、来場者数1,400人
課題等	・市内外からの来場者を中心市街地における賑わいに繋げて行くためには、商店街や各関係団体等とのさらなる連携強化及び効果的な情報発信を図る必要がある。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米市未来の地域リーダー育成プログラム事業 (文化芸術リーダー育成事業) ※R5年度までの「中学校美術教育振興事業」から名称・内容変更		担当課	学校教育課																														
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造																																	
取組みの内容	④ 様々な政策分野との連携																																	
取組み項目	1.文化事業と教育・福祉との連携・協働																																	
事業の目的・概要	<p>【目的】 市内中学生の美術への興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育むことを目的として、久留米市美術館等で行われる企画展の鑑賞授業を実施する。</p> <p>【概要】 市立5校程度の中学1年生が、久留米市美術館等で行われる企画展を鑑賞するための、送迎バスの借上げを行う。事業の実施に当たっては、生徒に対するアンケートや感想等を学校だより等で紹介し、効果の波及を図る。(3年間で全17中学校において、美術鑑賞が実施できるようにする)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施校数(校)</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>参加生徒数(人)</td> <td>2,641</td> <td>2,394</td> <td>2,484</td> <td>2,286</td> <td>2,437</td> <td>0</td> <td>2,193</td> <td>2,360</td> <td>2,102</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度は、1校(宮ノ陣中)のみ、当日の豪雨により中止 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2校の実施を延期後、中止 ※令和5年度は、感染症拡大防止のため2校の実施を延期後、中止</p>					H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	実施校数(校)	17	17	17	17	16	0	15	17	15	参加生徒数(人)	2,641	2,394	2,484	2,286	2,437	0	2,193	2,360	2,102
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																									
実施校数(校)	17	17	17	17	16	0	15	17	15																									
参加生徒数(人)	2,641	2,394	2,484	2,286	2,437	0	2,193	2,360	2,102																									
令和5年度	事業費(千円)		実績																															
	予算	決算																																
	2,646	2,379	<p>○市内17校中、15校で実施 2,333名参加</p> <p>○鑑賞内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「顕神の夢ー幻視の表現者ー村山槐多、関根正二から現代まで」 ・「芥川龍之介と美の世界 二人の先達ー夏目漱石、菅虎雄」 <p>○成果(各学校からの事業報告より、主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて本格的な美術作品を見る生徒が多く、美術作品に関心をもつことができた。 ・久留米出身の菅虎雄のことと、夏目漱石が久留米にいたことを知って、くめ学で調べ学習をしている高良山とのことに少し繋がった。 ・ボランティアの方の説明を聞くことで、作品をより身近に感じることができ、見方を広げることができた。 ・芥川龍之介の短編小説の一部を朗読してもらうことで、文学と絵画の関連について興味・関心をもって鑑賞することができた。 																															
令和6年度	事業費(千円)		計画																															
	予算	決算																																
	2,646		市内6校で実施予定(令和6年度から8年度までに市内17校で実施)																															
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・久留米市美術館の展示期間に応じた、各学校の日程調整。 ・バスの運転士に関する規制により、借り上げ代金が高騰し、バス確保が困難となってきている。 ・確実にバスを手配するためには、バス会社の繁忙期を避けてバス借上げを行う必要がある。 																																	

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	(公財)久留米文化振興会事業(補助金)	担当課	文化振興課
計画の柱	(2)久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	⑤公益財団法人久留米文化振興会の組織強化への支援		
取組み項目	ア.公益財団法人久留米文化振興会の施策展開への支援		
事業の目的・概要	<p>【目的・概要】 福岡県民、特に久留米市民の学術、文化の発展と公共の福祉の増進に寄与することを目的として、石橋文化センターの管理運営を行う任意団体として発足した久留米文化振興会に対し、財政支援を行い、安定的な財団運営と事業実施に努めている。 久留米文化振興会は、石橋文化センター諸施設及び管理委託を受けた諸施設の管理運営を行い、市と「車の両輪」となって文化行政を進めている。</p> <p>【団体事業概要】 久留米市より無償貸与及び管理委託を受けた石橋文化センター諸施設の管理運営を通して、芸術文化の振興と地域文化の活性化を図る。地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与する事業を展開する。</p> <p><主な事業内容> (1)施設管理運営 ①石橋文化センター(文化ホール・文化会館・楽水亭・庭園・共同ホール(R5年度まで)) ②高牟礼会館・芸能会館(R6年度から) (2)施設管理委託(指定管理) ①久留米市美術館、②野中生涯学習センター、 ③市民交流センター(市庁舎くろみホール・会議室) (3)芸術文化振興及び地域文化活性化のためのソフト事業 ①ホール等での公演事業 ②文化センター園内イベント(パラフェア、野外コンサート等) (4)収益事業 ①園内喫茶・売店「楽水亭」の運営、②駐車場の管理運営</p>		
令和5年度	事業費(千円)		実績
	予算	決算	
	358,997	331,812	補助金額331,812千円(運営費276,069、施設整備費55,743)
令和6年度	事業費(千円)		計画
	予算	決算	
	324,600		補助金額324,600千円(運営費302,516、施設整備費22,084)
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で落ち込んだ入園者、各施設利用者の回復 ・年々厳しさを増す非正規職員を含む人材確保への対策 ・文化センター施設等の老朽化による維持管理費の増加 		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米シティプラザ 自主事業	担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	① 久留米シティプラザを創造・発信の拠点とする文化芸術事業の推進		
取組み項目	ア.上質で多彩な鑑賞事業の実施		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米シティプラザを活用し、市民に上質で多様な文化芸術を鑑賞する機会や市民が自ら活動し発表する場を提供するとともに、市民のさまざまな文化芸術活動や新たな文化芸術の創造を促進していく。</p> <p>【概要】 市民が多様なジャンルの文化芸術に触れることができる事業をはじめ、次代を担う子どもたちの豊かな感性と心を育むための事業、文化芸術の裾野を広げるアウトリーチ事業や人材育成事業などを行う。 また、地域の独自性を活かした事業を展開することで、久留米の歴史ある伝統文化や地域資源の再発見、次世代への継承につなげるとともに、新たな久留米ならではの文化を創造・発信する。</p>		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	49,889	35,843	<p>計画していた通りの実施ができた。また、ザ・グランドホールの特性を活かした「ピアノシリーズ」や能舞台をザ・グランドホールに設置しての狂言公演、伝統芸能シリーズの実施など、新たな試みも行った。</p> <p>【主な実施事業】 鑑賞事業：狂言「久留米で出会う狂言の会」 ：音楽「田中菜緒子×N響メンバーによるシューベルト「鱒」」 (ピアノシリーズ) 演劇：「イミグレ怪談」 参加型パフォーマンス：「わたしのほころび」 子ども事業：鑑賞：「tupera tuperaえほんライブ」、「さいごの1つ前」 「フクローじいさんとベル子ちゃん」 体験：「こどものあそびば」、「はじめての演劇たいけんWS」 アウトリーチ事業：「北野町で会いましょう」 (地域住民と在住外国人との交流事業) 久留米の文化事業：「みんなのステージ発表会」 普及啓発事業：「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」 「ユースプログラム 新しい演劇鑑賞教室」 「伝統芸能レクチャーシリーズ」</p>
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	43,161	—	<p>「多様かつ上質な文化芸術の鑑賞事業」「久留米ならではの演劇・伝統文化事業」「子どもの創造力・感性を高める事業」を柱に、年間を通じ様々な分野の事業を展開する。</p> <p>【主な実施予定事業】 鑑賞事業：能楽公演 ：音楽「務川慧悟コンサート」 子ども事業：演劇「小さな王子様」、「さいごの一つ前」 鑑賞「0歳からのミュージックコンサート」 体験「こどものあそびば」、 「はじめての演劇体験ワークショップ」 久留米の文化事業 ：「みんなのステージ発表会」(旧芸能フェスティバル) ※再掲 普及啓発事業：「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」 「ユースプログラム 新しい演劇鑑賞教室」 「伝統芸能レクチャーシリーズ」</p>
課題等	<p>・様々な世代のニーズに応えるため、自主事業と提携事業のバランスを図りながら、ラインナップの充実を図る必要がある。</p> <p>・子どもの感性を高めるための、キッズプログラムの充実を図っていくことが必要である。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米シティプラザ 提携事業	担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	① 久留米シティプラザを創造・発信の拠点とする文化芸術事業の推進		
取組み項目	ア.上質で多彩な鑑賞事業の実施		
事業の目的 ・概要	<p>【目的】 久留米シティプラザを活用し、市民に上質で多様な文化芸術を鑑賞する機会や市民が自ら活動し発表する場を提供するとともに、市民のさまざまな文化芸術活動や新たな文化芸術の創造を促進していく。</p> <p>【概要】 施設の事業実施方針に合致する外部団体等が企画・制作する事業を提携事業として位置づけ、市民団体などと連携した取組みを行うことにより、自主的な文化芸術活動や賑わい創出活動を支援・促進していくとともに、久留米シティプラザの事業内容の充実を図る。</p>		
令和5年度			実績
	予算	決算	鑑賞事業：演劇「垣根の魔女」、「終わった人」、「リムジン」 ：ミュージカル「ファインディング・ネバーランド」 ：落語「久留米花緑会」
	-	-	
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	鑑賞事業：演劇「ハムレット」、「破門フェデリコ」 ：ミュージカル「カムフロムアウェイ」 ：音楽「石橋凌コンサート」、「工藤静香コンサート」 ：バレエ「ウクライナ国立バレエ」 ：落語「久留米花緑会」 など
	-	-	
課題等	・市民の多様なニーズに対応できる多種多様な事業を今後も継続して計画し、新規ファンの獲得、固定ファンの増加を図る必要がある。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米シティプラザ 魅力発信事業	担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	① 久留米シティプラザを創造・発信の拠点とする文化芸術事業の推進		
取組み項目	ウ積極的な広報活動の実施や施設の利便性の向上		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米シティプラザのさらなる情報発信やサービスの向上等により、施設利用の促進へとつなげ、シティプラザをこれまで以上に活用してもらうことで、市民のさまざまな文化芸術活動や新たな文化芸術の創造を促進していく。</p> <p>【概要】 SNSをはじめとした様々な媒体による情報発信や、マスコミ等への働きかけによる広報活動に積極的に取り組むとともに、施設利用者等への調査や企業訪問等を通して、また、館内に設置した「石橋文化センター情報サテライト」を活用した情報発信やチケット販売、空いている会議室の学習室としての市民開放、インターネットを活用した施設予約システムの検討など、施設利用に係る利便性の向上を図りながら、市民等による久留米シティプラザの積極的な利用促進に努める。</p> <p>○令和5年度来場者数：451,121人</p>		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	5,852	4,674	シティプラザ情報誌の発行(隔月)や各SNSでの発信に加え、TVやラジオ、新聞、タウン情報誌等へのパブリシティ活動を強化し、公演情報やチケット発売情報、施設の利活用方法等について積極的な情報発信を行った。
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	5,335	-	引き続きパブリシティ活動を積極的に展開し、効果的な情報発信に努める。 また、公式ホームページや各SNSの活用・マスコミへのリリースを更に強化することで、効率的な情報発信に努める。
課題等	様々な利用方法を積極的に広報し、事業広報、施設広報を充実させ、来館者数やシティプラザのファンを増やす必要がある。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	美術館事業（コレクション形成）	担当課	文化振興課
計画の柱	（3）文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	② 魅力あふれる美術館づくり		
取組み項目	ア.郷土の歴史をふまえた特徴あるコレクション形成		
事業の目的・概要	<p>【目的】 美術館の運営が、平成28年10月に（公財）石橋財団から市へ移行したことに伴い、新たな美術館としてのビジョン・コンセプトに基づく円滑な管理体制を構築し、石橋文化センター全体のミュージアム化などにより、市民により親しんでもらえる美術館を目指し運営管理していく。</p> <p>【概要】 近代以降、すぐれた洋画家たちを輩出してきた久留米の歴史と、同じく多くの洋画家たちを生んだ九州全域に目を向け、久留米ゆかりの作家を核とした九州洋画の体系的コレクションを形成する。収集に際しては、「久留米市美術品収集委員会」（美術関係の学識経験者5名で構成）の意見を聴きながら進めていく。 美術品及び美術に関する資料を取得するための資金を積み立てるため、平成27年1月に「美術振興基金」を設置し、広く寄付を募っている。</p> <p>【コレクション収集実績】 ・224点（購入：130点、寄贈：94点）令和6年3月末現在</p>		
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	80,341	8,443	<p>・収集委員会：1回開催（1月） 絵画51点（購入4点、寄贈47点）の収集決定 絵画4点 購入額：8,100千円</p> <p>※美術振興基金残高：353,584千円 ※令和6年3月末 ※美術振興基金への寄附：なし</p>
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	80,401		・収集委員会：1回開催予定
課題等	・美術振興基金への寄附の呼びかけ、PRの検討		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	美術館事業（展覧会、教育普及事業）	担当課	文化振興課
計画の柱	（3）文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	② 魅力あふれる美術館づくり		
取組み項目	1.魅力ある展覧会や教育普及活動の展開		
事業の目的・概要	<p>【目的】 石橋美術館の運営が、平成28年10月に（公財）石橋財団から市へ移行したことに伴い、新たな美術館としてのビジョン・コンセプトに基づく円滑な管理体制を構築し、石橋文化センター 全体のミュージアム化などにより、市民により親しんでもらえる美術館・石橋正二郎記念館として運営管理していく。</p> <p>【概要】 美術作品・資料の収集、保存、展示、調査研究といった、美術館本来の役割をしっかりと果たしていくとともに、他の美術館と連携した巡回展など、魅了ある展覧会を展開する。 美術講座やワークショップ等、市民への教育普及活動の充実や学校教育との連携を積極的に進める。</p> <p>指定管理者：（公財）久留米文化振興会 ※指定期間（第2期：令和3年4月～令和8年3月31日まで）</p> <p>※R5年度展覧会来館者数（本館2階、石橋正二郎記念館）：64,006人</p>		
令和5年度	予算	決算	実績
	219,235	219,235	<p>○展覧会（本館2階）</p> <p>① 「コレクションing4 野見山暁治の見た100年」4/22～6/4</p> <p>② 「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」6/17～8/17</p> <p>③ 「顕神の夢」8/26～10/15</p> <p>④ 「芥川龍之介と美の世界」10/28～1/28</p> <p>※「ちくごist 尾花成春」は工事休館のため来年度に延期</p> <p>○教育普及 美術講座、ワークショップ等の開催</p> <p>○石橋正二郎記念館の運営 石橋財団コレクションの展示替など</p>
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	<p>○展覧会（本館2階）</p> <p>① 「ちくごist 尾花成春」4/20～7/7</p> <p>② 「藍のものがたり」7/20～10/14</p> <p>③ 「日本が見たドニ・ドコの見た日本」11/2～1/13</p> <p>④ 「響きあう絵画 宮城県美術館コレクション」2/8～5/11</p> <p>○教育普及 美術講座、ワークショップ等の開催</p> <p>○石橋正二郎記念館の運営 石橋財団コレクションの展示替など</p>
課題等	・展覧会および石橋正二郎記念館への入館者数を増やすための検討		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	美術館事業（石橋文化センター全体のミュージアム化）	担当課	文化振興課
計画の柱	（3）文化施設の特徴を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	② 魅力あふれる美術館づくり		
取組み項目	ウ.石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動		
事業の目的・概要	<p>【目的】 美術館の運営が、平成28年10月に（公財）石橋財団から市へ移行したことに伴い、新たな美術館としてのビジョン・コンセプトに基づく円滑な管理体制を構築し、石橋文化センター全体のミュージアム化などにより、市民により親しんでもらえる美術館を目指す。</p> <p>【概要】 恵まれた立地環境を活かし、石橋文化センター全体をひとつのミュージアムと捉え、美術館事業と園内イベントなどと連携した事業を展開する。</p>		
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	-	-	<p>○ミュージアムコンサート 地域で活動する演奏家を支援するとともに、優れた演奏を気軽に楽しめる機会を市民に提供するコンサートを開催。コンサートチケットで観覧会入館料が無料。（4/26、8/12、10/4、12/9）</p> <p>○ミュージアム ハロウィン 親子で夜の石橋文化センターを楽しむ新規事業として、仮装イベント、マルシェ、ライトアップ等を開催。（10/7～10/31）</p> <p>○石橋文化センターアートフェスティバル 地元の子どもアーティスト、学生が石橋文化センターの空間や自然、歴史や文化に着想を得て作品を制作。バラや紅葉が彩る秋の園内で展示しライトアップを行った。（11/3～11/19）</p> <p>○ミュージアム クリスマス クリスマスの時期に、園内をライトアップ。クリスマスにちなんだワークショップやコンサートを開催。（12/15～12/24）</p> <p>○ミュージアムバレンタイン バレンタインの時期に、イルミネーションやコンサートをフラワーイベントを開催。（2/1～2/14）</p>
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	-	-	<p>○ミュージアムコンサート 地域で活動する演奏家を支援するとともに、優れた演奏を気軽に楽しめる機会を市民に提供するコンサートを開催。コンサートチケットで観覧会入館料が無料。 「子ども向けミュージアムコンサート for kids」など、年4回開催予定。</p> <p>○ミュージアム ハロウィン 10月頃、親子で夜の石橋文化センターを楽しむ事業として、仮装イベント、マルシェ、ライトアップ等を開催する。</p> <p>○石橋文化センターアートフェスティバル（11/2～11/17） 地元の子どもアーティスト、学生が石橋文化センターの空間や自然、歴史や文化に着想を得て作品を制作する。</p> <p>○ミュージアム クリスマス クリスマスの時期に、園内をライトアップし、クリスマスにちなんだワークショップやコンサートを開催する。</p>
課題等	効果的な事業の広報など		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	美術館事業（寄付やボランティア制度など）	担当課	文化振興課
計画の柱	（3）文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	② 魅力あふれる美術館づくり		
取組み項目	I.市民とともに創り育てる仕組みづくり		
事業の目的・概要	<p>【目的】 美術館の運営が、平成28年10月に（公財）石橋財団から市へ移行したことに伴い、新たな美術館としてのビジョン・コンセプトに基づく円滑な管理体制を構築し、石橋文化センター全体のミュージアム化などにより、市民により親しんでもらえる美術館として運営管理していく。</p> <p>【概要】 市民の美術館への関心を高める取組みを進めるとともに、ギャラリートークやワークショップなどの補助をするボランティアの育成・支援や寄付制度の活用など、さまざまな場面で、市民の協力や支援を得ながら活動することで、市民に「自分たちの美術館」として親しまれる美術館を目指す。</p>		
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	-	-	<p>○美術館ボランティア（26人）（令和6年3月末時点） ギャラリートーク、学校団体受け入れ時などの補助、講座、ワークショップの補助</p> <p>○友の会会員制度（467人：うちミュージアム会員370人、スタンダード会員97人）</p> <p>○企業協賛制度（48件：うちスペシャルパートナー（BS）1件、オフィシャルパートナー5件含む）</p> <p>○寄附制度（6件）、その他募金あり</p>
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	-	-	<p>○美術館ボランティア（40人） ギャラリートーク、学校団体受け入れ時などの補助、講座、ワークショップの補助</p> <p>○友の会会員制度（318人：うちミュージアム会員262人、スタンダード会員56人）</p> <p>○企業協賛制度（39件：うちスペシャルパートナー（BS）1件、オフィシャルパートナー5件、キャンパスパートナー2件含む）</p> <p>○寄附制度（4件）、その他募金あり</p> <p style="text-align: right;">※令和6年5月時点</p>
課題等	協賛・寄附制度の効果的なPR		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	そよ風ホール活用事業	担当課	文化振興課 田主丸総合支所文化スポーツ課
計画の柱	(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	③ 各文化施設の強みを活かした効果的な事業の展開		
取組み項目	ウ. 田主丸複合文化施設 [そよ風ホール] 文化ホール		
事業の目的・概要	<p>【施設について】 田主丸複合文化施設（「そよ風ホール」）は、文化芸術の振興及び生涯学習の振興を図り、文化芸術の振興及び社会福祉の向上に寄与することを目的として設置された、500席を有する文化ホールと図書館等を備えた複合施設であり、市が直接管理運営を行っている。令和5年7月の豪雨被災後は休館中。 令和6年度は、専門業者による被害状況の詳細な調査や工事方法等の分析を行い、復旧計画を立案する。</p> <p>【概要】 市民が優れた文化に広く親しめる事業の企画及び運営を進め、市民文化の高揚と文化活動の推進を図ることを目的に、地域の文化関係者等で組織された「そよ風ホール企画運営事業実行委員会」に対し、経費の一部を補助する。</p>		
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	5,000	787	<p>※7月の豪雨被災の影響により、そよ風ホールは当面の間休館となり、予定していた事業はほぼ中止となった。</p> <p>【招聘事業】 会場：文化ホール ①九響メンバーによるクラシックコンサート（クラシック）→中止 ②長靴をはいた猫（劇：子ども・ファミリー向け）→中止 ③ステージ事業（講演会）→中止</p> <p>【普及・参加型事業】 会場：文化ホール 地元で活躍するアーティストを招き、ミニコンサート（サマーコンサート、ウィンターコンサート、スプリングコンサート）やオータム映画上映会を会場無料にて実施。 →サマーコンサートのみ実施（6/4、参加者数561人）。以後のミニコンサート・映画上映会は中止。</p> <p>【展示事業】 会場：市民ギャラリー ①絵画展（4月、8月）→4月のみ実施 ②写真展（5月、7月、9月、11月、1月、3月）→5月のみ実施 ③書道展（8月）→中止</p>
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	1,230		<p>【アウトリーチコンサート】会場：7校区コミュニティセンター等 被災後文化芸術に接する機会が減少している市民に対し、地元アーティストによるコンサートなど、文化芸術を身近に感じられる事業を田主丸7校区にて実施する。</p> <p>【普及・参加型事業】 会場：福岡県立浮羽工業高校体育館 陸上自衛隊第4音楽隊より被災地を励ましたいとの申し出を受け、浮羽工業高校体育館2Fにてスプリングコンサートを実施（4/20）。256名が参加した。</p> <p>【展示事業】そよ風ホール休館中につき実施しない。</p>
課題等	・アウトリーチの実施に際して、各地元のニーズの掘り起こしの必要がある。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	インガットホール活用事業	担当課	文化振興課 城島総合支所文化スポーツ課
計画の柱	(3) 文化施設の特徴を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	③ 各文化施設の強みを活かした効果的な事業の展開		
取組み項目	工城島総合文化センター インガットホール		
事業の目的・概要	<p>【施設について】 城島総合文化センターは、文化芸術及び生涯学習の振興を図り、文化芸術の振興及び社会福祉の向上に寄与することを目的として設置された施設で、約600席を有するインガットホールや図書館、研修室、和室等を備えた複合施設である。市が直接管理運営を行っている。</p> <p>【概要】 文化芸術による市民の融和を図り、市民の文化芸術活動の更なる促進と心豊かな地域の発展に寄与することを目的として、地域の文化関係者等で組織された「インガットホール活用実行委員会」に対し、その経費の一部を補助している。</p>		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	3,500	2,788	①市民との協同事業 筑後酒造り唄・そろばん踊り唄コンクール(5/21 三瀬生涯学習センター 490名) ②鑑賞事業 ピアノコンサート(10/22 インガットホール 150名) 九州交響楽団弦楽四重奏(1/21 インガットホール 279名) ③市民活動支援事業 Jフェス第10回城島音楽祭(8/27 インガットホール 700名) こどもオペラ「3匹のこぶた」(11/18 インガットホール 340名) こどもフェスティバル 創作劇フィルタンス(12/3 インガットホール 360名) ④普及事業 地域の小学校でのワークショップ（公共ホール音楽活性化支援事業）(10/17～20 西部地域5小学校 226名) 地域の小学校での民謡にトライ (1/15、1/29、1/31 城島・三瀬地域5小学校 213名) 出張音楽タイム (3/23 青木校区コミュニティセンター 120名) ⑤その他 ロビーコンサート 絵本とオカリナの音楽会(9/16 インガットホールロビー 160名)
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	3,325		①市民との協同事業 筑後酒造り唄・そろばん踊り唄コンクール(5/19 インガットホール) ②鑑賞事業 ピアノコンサート(10/26 インガットホール) 九州交響楽団オーケストラ(2/2 インガットホール) ③市民活動支援事業 Jフェス第11回城島音楽祭(8/25 インガットホール) 第13回こどもフェスティバル in 城島(12/8 インガットホール) ④普及事業 地域の小学校でのワークショップ（公共ホール音楽活性化支援事業）(10/22～25 西部地域5小学校) 地域の小学校での民謡にトライ(1月中旬予定) ⑤その他 ロビーコンサート (9月中旬予定 インガットホールロビー)
課題等	・全市民を対象としつつも、立地等の事情もあり、結果的に、周辺地域の住民の参加が中心となっている。 ・市内他施設（久留米シティプラザ・石橋文化ホール・そよ風ホール等）と連携した利用促進。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	芸術家等に関する情報収集	担当課	文化振興課
計画の柱	(4) 効果的かつ積極的な情報の収集と発信		
取組みの内容	① 芸術家などに関するデータの収集・整理		
取組み項目	ア. 久留米市ゆかりの芸術家等に関する情報の収集		
事業の目的・概要	<p>【目的】 インターネット等を活用した多様な手法により、久留米市の文化芸術に関する先達を含め、市内の芸術家や文化芸術団体など久留米市にゆかりのある人材の情報収集に努める。</p> <p>【概要】</p> <p>(1) 芸術家等に関する情報収集 様々な専門機関等を活用した文化芸術に関する最新情報の入手や、インターネット等の活用など、多様な手法で、久留米市にゆかりのある人材情報等の収集に努め、その活用方法についても検討を行う。</p> <p>(2) 音楽によるまちづくり推進事業におけるミュージシャン情報の活用 「くるめ街かど音楽祭」や「くるめライブチャレンジ」等に出演した一部のミュージシャンについては、育成支援という視点で、市内で開催されるイベント等において活動の機会を提供している。</p>		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 様々な文化芸術に関する情報の入手 インターネット等の活用 など、多様な手法で、久留米市にゆかりのある人材情報等の収集に努める。
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 様々な文化芸術に関する情報の入手 インターネット等の活用 など、多様な手法で、久留米市にゆかりのある人材情報等の収集に努める。
課題等	<p>・現在のアーティストに関する情報は、個人のHPやSNSなど多様な媒体から発信されており、そこから久留米市にゆかりのある人材の情報を検索・把握し、更新していく難しさがある。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米シティプラザ 普及啓発事業	担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(4) 効果的かつ積極的な情報の収集と発信		
取組みの内容	② 文化芸術をより身近に感じてもらうための取組みの推進		
取組み項目	イ. 文化芸術普及活動の実施		
事業の目的・概要	<p>【目的】 普段、なかなか劇場に足を運ぶきっかけがない方や、何らかの事情で劇場に足を運ぶことが困難な方、そして未来を担う子どもたちに、芸術や芸術家とふれあう機会を目的とする。特に、子どもや高齢者、障害を持った方に向けたワークショップや鑑賞事業を展開していく。</p> <p>【概要】 (1) 派遣型アウトリーチ事業 ・病院に入院していたり、高齢者施設に入所していたり、普段劇場に足を運ぶ環境にない方に文化芸術や芸術家と触れ合う機会を提供する。 ・公演だけではなく、様々な体験などを通して、対象者が文化芸術への興味・関心を高めることを目指す。 (2) 鑑賞・体験サポート事業 ・普段、年齢制限があつてなかなかコンサートに行けない未就学児やその家族にも、文化芸術に触れていただくための鑑賞事業やワークショップを実施する。</p> <p>※下記、予算決算欄は、プラザ自主事業に含む。</p>		
令和5年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	—	—	<p>令和4年度から実施している「劇場で考えるシリーズ」や「次世代を担う人材育成を目的とした教育普及プログラム」を引き続き、実施。 また、アウトリーチ事業として、5年度から新たに、市内でも外国人居住率が高い北野町で、地域住民と外国人が交流する多文化共生ワークショップ（うた編/ダンス編）を開始した。</p> <p>・「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」 ・ユースプログラム「新しい演劇鑑賞教室」 ・アウトリーチ事業「北野町で会いましょう」（多文化共生）</p>
令和6年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	—	—	<p>昨年度に引き続き、次世代を担う人材育成を目的とした教育普及プログラムを展開。若年層が劇場で演劇に触れ、アーティストや参加者同士で対話を重ねる新たな取組を実施する。また、公演の一部では、観劇サポートを実施し、多様な人が文化芸術に触れる機会を設ける。</p> <p>アウトリーチ事業については、外国人居住者が市内で多い北野町において、「ダンス」と「うた」を中心とした普及事業に引き続き、取り組む。</p> <p>・「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」 ・ユースプログラム「新しい演劇鑑賞教室」 ・観劇サポートの実施 ・アウトリーチ事業「北野町で会いましょう」（多文化共生）</p>
課題等	<p>・アウトリーチ事業では、チラシやホームページを2か国語対応で作成をしているものの、外国人の方いかに周知し、参加を促すことができるかが課題。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	様々な媒体を活用した情報発信	担当課	関係各課
計画の柱	(4) 効果的かつ積極的な情報の収集と発信		
取組みの内容	③ 様々な媒体を活用した戦略的な情報の発信		
取組み項目	ア. 広報紙、ケーブルTV、FM放送等による発信 イ. ホームページの充実、SNS等による発信		
事業の目的・概要	<p>【目的・概要】 久留米シティプラザをはじめ、市内で行われる上質で多彩な催しについて、特に市民や福岡都市圏、近隣市町等に向けて関心を高めるような広報の充実を念頭に、新聞や広報誌といった紙媒体やTV、ラジオ、ホームページ、SNSなど、様々な情報媒体や機能を幅広く活用し、最も効果的な方法で、迅速に情報を発信する。</p> <p>① 広報物 ・広報くろめ（毎月1回発行） ・石橋文化センター広報紙「みどりのリズム」（隔月発行） ・久留米シティプラザ情報誌（隔月発行）</p> <p>② ドリームスFM ・コミュニティFMラジオの朝・夕方の番組で、文化情報を発信するコーナーを設け、市主催の文化事業や後援している文化活動を紹介し、情報発信している。（週3～4日放送） ・ドリームスFMプラザ情報番組（毎週火曜放送）</p> <p>③ その他 ・市の音楽情報ポータルサイト「くるおん」で、音楽事業等の情報発信をしている。 ・ケーブルTVや（公財）久留米観光コンベンション国際交流協会、無料情報誌などで、市主催の文化事業を紹介する。（随時） ・ホームページの充実やSNSなど多様な媒体を活用した情報発信を行う。</p>		
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	-	-	<p>・久留米市HPのイベント情報欄や市公式LINE、ドリームスFMラジオ、くるおんホームページのFacebook、市美術館のFacebook等において、市主催の文化事業や後援する文化芸術活動、事業等を紹介した。</p> <p>・Facebook、LINE、YouTube、Instagramなど、多様なSNS媒体を活用した情報発信を行った。</p> <p>・石橋文化センター公式YouTubeチャンネルにおいて、邦楽演奏会（3/23開催）のアーカイブ配信を行うなど、イベント開催後の情報発信にも取り組んだ。</p>
令和6年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	-	-	<p>・久留米市HPのイベント情報欄や市公式LINE、ドリームスFMラジオ、くるおんホームページのFacebook、市美術館のFacebook等において、市主催の文化事業や後援する文化芸術活動、事業等を紹介する。</p> <p>・Facebook、LINE、YouTube、Instagramなど、多様なSNS媒体を活用した情報発信を行う。</p>
課題等	幅広い世代へ情報を届けるための、SNSなど多様な媒体の活用		